

第 18 回有機化学系教科担当教員会議 議事録

1. 日時：2023 年（令和 5 年）11 月 5 日（日）13:30～
2. 場所：岐阜医療科学大学 可児キャンパス
3. 議題：「改訂モデル・コアカリキュラムと有機化学～社会ニーズに応える薬剤師育成のためにできること」
 - (1) 開会の挨拶 世話人連絡会 野下俊朗（岐阜医療科学大学）
 - (2) 講演Ⅰ
演 題：「薬学の基礎としての有機化学」
講演者：山口泰史先生（長崎国際大学）
座 長：野下俊朗（岐阜医療科学大学）
 - (3) 講演Ⅱ
演 題：「社会ニーズに応える薬剤師育成と有機化学～臨床教員の立場から」
講演者：舘 知也先生（名古屋市立大学）
座 長：田口博明（鈴鹿医療科学大学）
 - (4) 講演Ⅲ
演 題：「臨床現場で求められる有機化学の知識」
講演者：野口義紘先生（岐阜薬科大学）
座 長：田代 竜（鈴鹿医療科学大学）
 - (5) 令和 5 年度若手教員会議報告
演 題：「改訂コアカリにおける薬学研究の学修目標に到達するための指導/研究室運営はどうあるべきか」
講演者：植田浩史先生（東北大学）
座 長：萬代大樹（岐阜医療科学大学）
 - (6) アンケート集計報告 野下俊朗（岐阜医療科学大学）
 - (7) 次回会議の世話人のご紹介とご挨拶
神戸学院大学 稲垣冬彦先生，日置和人先生
兵庫医科大学 宮部豪人先生，清水 忠先生
 - (8) 閉会の挨拶 世話人連絡会 田口博明（鈴鹿医療科学大学）

4. 会議報告

(1) 開会の挨拶 (13:30～13:35)

会議世話人を代表して、野下俊朗（岐阜医療科学大学）より開会の挨拶があった。新型コロナウイルスが第5類感染症に位置付けられるようになったことから、今回の会議を対面式での開催としたことが説明された。今回の議題は「改訂モデル・コアカリキュラムと有機化学～社会ニーズに応える薬剤師育成のためにできること」とした経緯について簡単な説明があった。

(2) 講演Ⅰ (13:35～14:20)

演 題：「薬学の基礎としての有機化学」

講演者：山口泰史先生（長崎国際大学）

座 長：野下俊朗（岐阜医療科学大学）

長崎国際大学における有機化学教育の取り組みが紹介された。2006年の薬学部創設以来薬学コアカリキュラムの改訂と教育における諸問題解決のために3回のカリキュラム変更がなされたこと、いくつかの科目が相互に関連するような科目の必修化によって国家試験合格率が改善されたことなどが紹介された。有機化学の学修には基本的事項を演習で復習することが重要であることも示された。

(3) 講演Ⅱ (14:20～15:00)

演 題：「社会ニーズに応える薬剤師育成と有機化学～臨床教員の立場から」

講演者：舘 知也先生（名古屋市立大学）

座 長：田口博明（鈴鹿医療科学大学）

臨床現場の薬剤師が大学で有機化学を学修する意義、患者・生活者の健康行動と薬剤師、薬剤師に対する患者・生活者からのニーズと社会ニーズという観点からの紹介がなされた。患者や医療専門職から有機化学の科学的知識・思考を潜在的に求められている薬剤師がそれに応えられないと、信頼の損失につながり、患者の健康行動の未実施や健康アウトカムの悪化/チーム医療の障害に至る可能性があることが示され、薬剤師になってからでも有機化学が役に立つことが紹介された。

(4) 講演III (15:20~16:00)

演 題：「臨床現場で求められる有機化学の知識」

講演者：野口義紘先生（岐阜薬科大学）

座 長：田代 竜（鈴鹿医療科学大学）

臨床現場で求められる有機化学の知識の例として「配合変化」「安定性」「相互作用」が、それぞれ実例と共に示されたのち、教員の側は有機化学など基礎科目を臨床で活用するプロセスの経験不足と参考にできる情報の少なさ、薬剤師の側は基礎科目を臨床に結び付けられていないことが指摘された。この改善には両者の協働のしやすさを考慮し「大学主催の薬剤師卒後教育講座」を活用していくべきではないかという提案がなされた。

(5) 令和5年度次世代シンポジウム運営委員会報告 (16:10~16:40)

演 題：「改訂コアカリにおける薬学研究の学修目標に到達するための指導/研究室運営はどうあるべきか」

講演者：植田浩史先生（東北大学）

座 長：萬代大樹（岐阜医療科学大学）

「改訂コアカリに基づく薬学研究の指導、研究室運営について」を議題として討議された内容が報告された。コアカリ「G 薬学研究」に掲げる高い学修目標と、国家試験を目指す学生との乖離を埋めるための対応案として、実験内容と国家試験を結びつけることで、基礎力やモチベーションの向上を促し、学修目標と学生の乖離を埋める方策が挙げられた。また、社会の変化に対する研究室の取り組みに関してデジタルツールの活用など多様な意見が報告された。

(6) アンケート集計報告 (16:40~16:50)

報告：野下俊朗（岐阜医療科学大学）

教科担当教員中央会議（7/25）において要請された各大学で行われている実習・演習内容についての取りまとめに関して実施したアンケートの集計結果が報告された。

(7) 次回会議の世話人のご紹介とご挨拶 (16:50~16:55)

次回会議の世話人として稲垣冬彦先生、日置和人先生（神戸学院大学）、宮部豪人先生、清水 忠先生（兵庫医科大学）が紹介され、各先生方より挨拶があった。

(8) 閉会の挨拶 (16:55~17:00)

世話人を代表して田口博明（鈴鹿医療科学大学）より挨拶があった。